

2022年のねじ産業に関する報告

Report for Fastener Industry in 2022

2023年 4 月

Apr./2023

【B】イワタボルト

〈SOFI Series〉————

Report for Fastener Industry in 2022

1, April, 2023

IWATA BOLT Co., Ltd.

〈SOFI シリーズ〉————

2022年のねじ産業に関する報告

2023年4月1日

編集・作成 イワタボルト(株)総務課

2022年のねじ産業に関する報告

2023年3月

はじめに

2022年を振り返ってみると、日本国内は 新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が3年目をむかえました。ワクチン接種が進み感染症の抑え込みが図られ、経済再生への気運が高まりました。しかし、中国でのロックダウンによる生産・流通の停滞問題、東欧での紛争によるエネルギー資源および鉱物資源の調達問題が新たに発生し、経済活性化に影を落としました。海外では、「With Corona」を掲げ感染症抑制と経済活性の両立を図る方へ舵が切られ、欧米諸国ではその成果が顕著に見られるようになりましたが、東欧の紛争が大きく影響を与えました。

我が国のねじ産業を取り巻く情勢は厳しく、昨年来の自動車産業向け半導体不足による生産調整は継続となり、加えて輸入物価が大幅な値上りをみせ、国内生産コストが大幅に上がりました。このような背景で、大和総研が2022年12月に発表した日本経済見通しによりますと、日本の経済成長率は、2022年度実質GDP 前年度比で+1.9%，海外では、米国が+1.9%，ユーロ圏が+3.3%，中国が+2.7%と21年比で大きく低下しました。2023年の予測では、日本が+1.4%，米国+0.7%，ユーロ圏+0.1%，中国+4.5%と予想されています。「ゼロコロナ」政策から「ウイズコロナ」政策へ実質的な転換を図りましたが、米欧のエネルギー資源やコアインフレ率（食品を除く）はまだ高水準にあり、金融政策も利上げ継続方針を示しています。懸念材料として、中国での新規感染者急増し、「ゼロコロナ」政策への振り戻しが残るとなっています。

日本の鉱業・製造業の活動状況を総合的にみることができる指標の鉱工業生産指数（2015年=100、季節調整済み）の2022年12月速報値が経済産業省より1月31日に発表となりました。同指数は前月比0.1%の減少で95.4となりました。生産・出荷・在庫は低下、在庫率は上昇となりました。また製造工業生産予測調査によると1月は横ばい、2月は上昇を予測しており、同省では12月の基調判断を「総じてみれば、生産は弱含んでいる」としています。

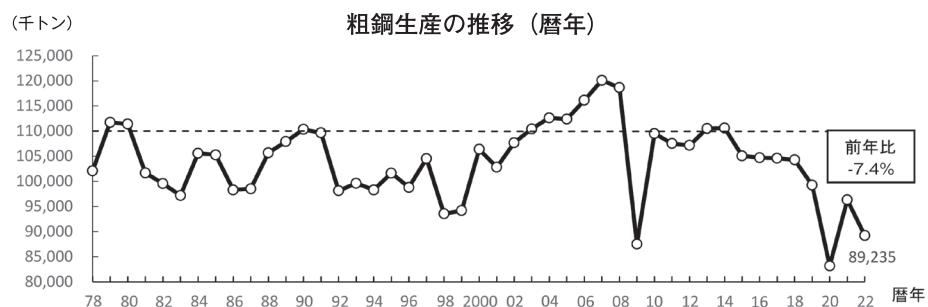
12月の生産の上昇に寄与したのは、15業種のうち4業種となっています。その内訳

は、輸送機械工業（除、自動車工業）（航空機用発動機部品等、前月比4.5%増、前年同月比26.5%増）、パルプ・紙・紙加工品工業（新聞巻取り紙等、前月比1.6%増、前年同月比2.9%減）、生産用機械工業（半導体製造装置・金型等、前月比0.7%増、前年同月比0.9%増）、自動車工業（軽自動車、自動車用エンジン、小型乗用車等、前月比0.6%増、前年同月比55%減）。

低下した業種は、15業種のうち10業種となっています。その内訳は、石油・石炭製品工業（ガソリン、軽油等、前月比6.5%減、前年同月比3.7%減）、汎用・業務用機械工業（ボイラ部品、汎用内燃機関、精密測定機等、前月比6.0%減、前年同月比5.2%減）、鉄鋼・非鉄金属工業（電気金、特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼等、前月比3.0%減、前年同月比8.4%減）、窯業・土石製品工業（セメント、ファインセラミックス（パッケージ）等、前月比1.9%減、前年同月比9.9%減）、化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）（合成洗剤、仕上用化粧品、界面活性剤等、前月比1.4%減、前年同月比6.3%増）、金属製品工業（橋梁、超硬チップ等、前月比1.3%減、前年同月比1.4%減）、電気・情報通信機械工業（外部記憶装置、プログラマブルコントローラ、デスクトップ型パソコン等、前月比1.2%減、前年同月比5.4%増）、その他工業（金属製家具、製材、合成繊維織物等、前月比0.9%減、前年同月比3.4%減）、電子部品・デバイス工業（アクティブ型液晶パネル（大型）、アクティブ型液晶パネル（中・小型）、トランジスタ等、前月比0.7%減、前年同月比13.1%減）、プラスチック製品工業（プラスチック製フィルム・シート等、前月比0.4%減、前年同月比5.2%減）。

15業種のうち1業種は横ばいです。それは、無機・有機化学工業（合成ゴム、フェノール等が増加、ポリスチレン、スチレンモノマー等が減少、前月比0.0%、前年同月比134%減）となっています。

日本鉄鋼連盟が発表した鉄鋼生産概況によると、2022年の粗鋼生産量は、8923万5千トン（前年比7.4%減）と前年に比べ709万2千トン減少し、9,000万トンを割り込みました。



又、2022年12月度の自動車生産台数は、69万8,142台で前年同月比1.6%減となりました。2022年12月までの四輪車生産台数は782万6,209台で前年比0.3%減となり、前年実績を少し下回りました。

一方、日本電機工業会が1月24日に発表した民生用電気機器（電気冷蔵庫・電気洗濯機・ルームエアコン等）の2022年12月度における国内出荷金額は2,295億円、前年同月比0.8%減と6ヶ月ぶりにマイナスとなりました。

製品別の国内出荷額をみると、ルームエアコンは515億円、前年同月比4.2%増となり、6ヶ月連続のプラス、電気冷蔵庫は327億円、前年同月比13.8%減で、2ヶ月連続のマイナス、電気洗濯機は378億円、前年同月比2.3%減で、2ヶ月連続のマイナスとなりました。年間出荷額は、2兆5,724億円、前年比2.0%増と2年ぶりにプラスとなりました。前年比で伸びた製品は2製品で、電気シェーバー4.8%増、IH クッキングヒーター3.2%増となっています。

また電子情報技術産業協会が1月26日に発表した民生用電子機器（薄型テレビなど映像機器、オーディオ関連機器、カーAVC機器）の2022年1月～12月国内出荷額は、1兆2,492億円で前年比4.8%減となっています。

薄型テレビなどの映像機器の出荷額は、前年比83%減の5,840億円、オーディオ関連機器は、前年比0.6%増の727億円、カーAVC機器は、前年比1.9%減の5,925億円となっています。

機械工業における設備投資の動向を反映する工作機械の受注状況について、日本工作機械工業会の発表によると2022年も昨年に引き続き前月比プラス状態が8月まで続き、9月からマイナスに転じ、12月は持ち直しました。2022年の受注総額は、前年比14.2%増の1兆7,560億円となっています。

国土交通省が1月31日に発表した2022年度の新設住宅着工戸数は、前年比0.4%増の859,529戸で、2年連続の増加となりました。種類別では、持ち家が253,287戸、前年比11.35%減、分譲住宅は、255,487戸（マンション108,198戸で前年比6.8%増、一戸建住宅145,992戸で前年比3.5%増）で前年比4.7%増、賃家は、345,080戸で前年比7.4%増となっています。地域別の総戸数では、首都圏が2.8%増、中部圏が1.9%減、近畿圏が1.4%増となりました。

このような2022年の動向の中で、イワタボルトはお客様の多様な要望に的確にお応えしていくために、国内および海外部門にて、最新鋭機械・装置の導入をはじめ積極的な設備投資、商品開発を推進しました。

事業所の近況において、海外生産拠点の一つである岩田螺絲（深圳）有限公司は、お客様へ安定・安全・信頼を継続提供する目的で ねじの生産管理能力の底上げをすべく、設備の維持保全管理及び改善を日々徹底しております。この度、自動車部品製造の顧客である佛山東海理化汽車部件有限公司様より ご指導、ご支援を賜り、特殊工程である熱処理工程（浸炭焼入れ焼き戻し工程）の認定を戴きました。



また、自社開発の「ねじ部 360° 画像検査機」を日本栃木工場には1台増設、中国深圳工場と米国オハイオ工場には各1台新設し、画像検査機は全工場で総計136台となりました。

日本国内では、2016年に中国地方に新設しました「広島分室」を新築拡充移転いたします。竣工予定は、2023年6月です。又、つくば営業所が手狭となっておりましたので、利便性の良い所へ移転を計画しております。

また、当社では、3Dプリンタを2012年に導入し 製品開発の合理化と理論の検証、展示会及び商談での具体的な商品紹介などに活用してきました。最近では、国内外各社で作業性に優れた高性能・高機能な機械が種々作られています。

今回、使用材料が汎用品からゴム、ガラス添加のもの、耐熱性のもの、ロストワックスで使用可能なものなど、約20種類の素材が使用可能な光造形式3Dプリンタに更新しました。



図 左から3D プリンタ本体、洗浄機、2次硬化機

メーカ	Formlabs
製品名	Form3+
方式	光造形方式
造形領域	145×145×185mm
XY 解像度	50 μ m
Z 積層ピッチ	25~300 μ m
本体寸法	405×530×780
本体重量	17.5kg

表 本体仕様

開発オリジナル商品としては、新機構のアジャスト機構部品、おねじ部品である「H R P ボルト」、「センタリングボルト」とめねじ部品である「ICC インサートナット」とがあります。

アジャスト機構部品から特徴を説明いたします。この製品は、構造体の2つの板の間に隙間がある場合、隙間を埋めて締結を行う必要がありますが、この隙間は同一ではなくばらつきがあり これを吸収して締結することは難題です。

当社は予てよりアジャスト機構部品を製造、供給しておりましたが、時代背景に沿って、軽量で多種材に適用できる新たな機構を構築いたしました。

アジャスト機構部品は、アジャストナットとアジャストボルトからなっています。締結構造体の隙間を自らが引き出し量で調整する為、微調整が容易であり、安定した締結が行えます。



図 アジャスト機構部品

「H R P ボルト」は、昨年ご紹介いたしました「H R P ナット」のおねじタイプとなります。

取外し防止を主目的としたワンウェイ式のフランジ付きボルトです。市販の工具で締付けができますが、容易に外すことはできない構造です。M 5 と M 6 が製品化されています。



図 H R P ボルト (Hexagon Removal Prevention Bolt)

「センタリングボルト」は、特殊構造の段部を軸部に設けて 締付け時に締結部材の位置補正機能を持たせた製品です。締結部材を横方向よりボルトを締付ける構造形態の場合、締結部材が自重により下側に位置ずれを起こす頻度が高く、作業者が位置補正をしながら締付け作業をする必要があります。この製品は、標準ボルトと同様の締付け作業をするだけで位置補正し締結位置精度が向上いたします。

適用サイズは、M 5 から M 12 です。

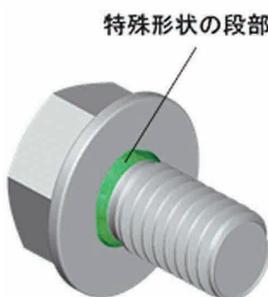


図1 ボルト外観

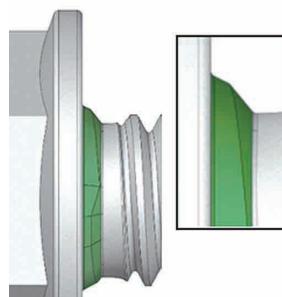


図2 軸方向形状

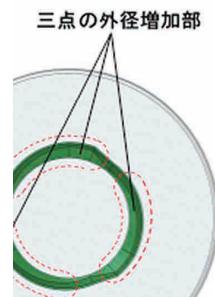


図3 円周方向形状

図 センタリングボルト (Centering Bolt)

従来の袋穴タイプのインサートナットは、ねじ部にめっきが付きにくい、切粉の残留や生産性が悪い、不完全ねじ部によりナット高さが増加するなどの問題点がありました。

「ICC インサートナット」は、めねじ加工、表面処理を行った後にかしめ加工を行い袋穴形状を成形します。この生産工程によりこれらの問題点を全て解決しています。適用サイズは M3 から M8 です。

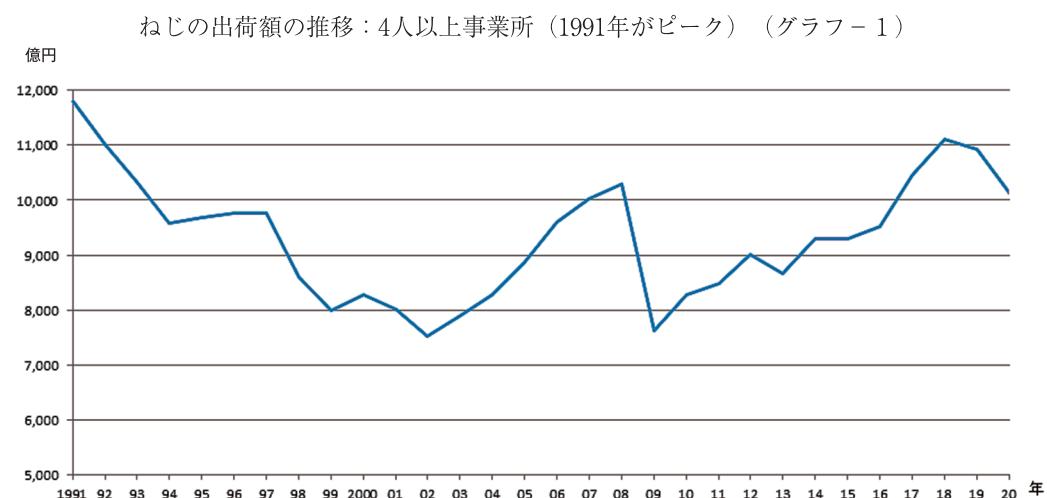


図 ICC インサートナット (Iwata bolt Crimped Cap end insert nut)

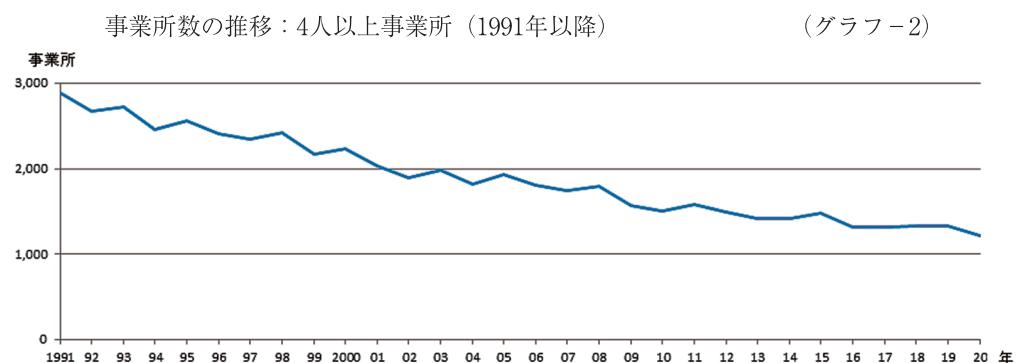
以上に紹介いたしました事と製品へのご要望が有りましたら、弊社営業担当までご連絡を御願い致します。

1. ねじの生産と出荷

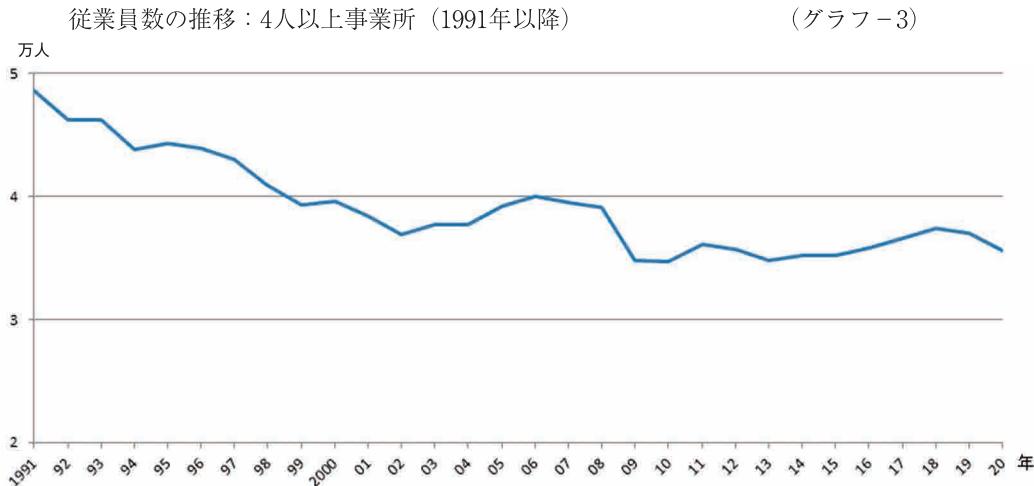
我が国のねじ生産と出荷の状況は、2年遅れで発行となる経済産業省・工業統計表が、2022年4月以降、総務省の「経済構造実態調査」の一部として実施変更となり、2022年12月26日に発表されました。ねじ総出荷額の90%強を占めている4人以上事業所でみますと、2020年のねじ出荷額は前年比7.2%減の1兆138億6,800万円となりました。2017年以降4年連続して1兆円を超えていました。（グラフ－1）



また、事業所数は、1,218事業所となり前年比8.8%減、118事業所の減少となっています。これは調査を開始した1991年の事業所数と比較して 2013年以降は半数を下回っています。2017年以降3年続けて増加していましたが、コロナ禍の影響もあって大きく減少しました。（グラフ－2）



従業員数は、事業所が100社以上減少したことで、前年比3.7%減、1,353人が減少し、35,667人となりました。(グラフ-3)



付加価値額については、前年比13.5%減の3,637億5,100万円と565億6,800万円の大額な減少で、2004年以降で2009年を最低額として下から6番目に低い金額となりました。(表-1,2)

(この付加価値額は生産額から消費税を除く内国消費税額と推計消費税額および原材料使用額等と原価償却を差し引いたもの)

（表1）ねじ産業5年間の推移
(従業員4名以上、工業統計産業編より) (出荷額・付加価値額 = 百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
事業所数	1,319 100.0%	1,315 99.7%	1,330 100.8%	1,336 101.3%	1,218 92.3%
従業員数	35,816 100.0%	36,636 102.3%	37,465 104.6%	37,020 103.4%	35,667 99.6%
出荷額	951,844 100.0%	1,046,719 110.0%	1,111,353 116.8%	1,092,791 114.8%	1,013,868 106.5%
付加価値額	383,989 100.0%	423,277 110.2%	442,335 115.2%	420,319 109.5%	363,751 94.7%

〈表2〉ねじ産業の推移（出荷額ピークの1991年以降,4人以上事業所）

年	事業所数	%	従業員数	%	出荷額(百万円)	%
1991	2,882	100.0%	48,653	100.0%	1,179,713	100.0%
1992	2,676	92.9%	46,236	95.0%	1,100,448	93.3%
1993	2,720	94.4%	46,212	95.0%	1,033,690	87.6%
1994	2,465	85.5%	43,819	90.1%	957,742	81.2%
1995	2,561	88.9%	44,361	91.2%	968,054	82.1%
1996	2,410	83.6%	43,962	90.4%	975,860	82.7%
1997	2,343	81.3%	43,019	88.4%	976,019	82.7%
1998	2,429	84.3%	40,971	84.2%	861,145	73.0%
1999	2,176	75.5%	39,298	80.8%	798,717	67.7%
2000	2,239	77.7%	39,634	81.5%	826,796	70.1%
2001	2,028	70.4%	38,451	79.0%	800,947	67.9%
2002	1,892	65.6%	36,971	76.0%	751,656	63.7%
2003	1,989	69.0%	37,774	77.6%	789,992	67.0%
2004	1,816	63.0%	37,684	77.5%	828,591	70.2%
2005	1,933	67.1%	39,209	80.6%	887,035	75.2%
2006	1,802	62.5%	40,038	82.3%	959,406	81.3%
2007	1,744	60.5%	39,499	81.2%	1,003,624	85.1%
2008	1,790	62.1%	39,083	80.3%	1,030,445	87.3%
2009	1,571	54.5%	34,785	71.5%	762,728	64.7%
2010	1,509	52.4%	34,745	71.4%	828,191	70.2%
2011	1,585	55.0%	36,179	74.4%	847,410	71.8%
2012	1,494	51.8%	35,777	73.5%	900,926	76.4%
2013	1,419	49.2%	34,865	71.7%	865,965	73.4%
2014	1,417	49.2%	35,224	72.4%	930,040	78.8%
2015	1,484	51.5%	35,278	72.5%	930,329	78.9%
2016	1,319	45.8%	35,816	73.6%	951,844	80.7%
2017	1,315	45.6%	36,636	75.3%	1,046,719	88.7%
2018	1,330	46.1%	37,465	77.0%	1,111,353	94.2%
2019	1,336	46.4%	37,020	76.1%	1,092,791	92.6%
2020	1,218	42.3%	35,667	73.3%	1,013,868	85.9%

続いて、4人以上事業所における2020年の品種別の出荷状況〈表3〉をみると、5分類の品種（ボルト・ナット、小ねじ・木ねじ、リベット、座金、ねじ関連製品）の全品種が減少となりました。

ボルト・ナットは数量で213万8,988トン（前年比2.0%減）、金額は6,767億3,500万円（前年比4.6%減）、小ねじ・木ねじは数量で11万2,657トン（前年比17.4%減）、金額は730億900万円（前年比17.3%減）、リベットは数量で8万2,759トン（前年比3.6%減）、金額は326億6,600万円（前年比13.6%減）、座金の金額は、249億5,500万円（前年比5.1%減）、ねじ関連製品の金額は1,168億9,500万円（前年比5.6%減）という状況になっています。

なお、〈表3〉の出荷額が〈表1〉の出荷額と一致していないのは〈表1〉の出荷額

には、製造品出荷額に加工賃収入額、製造工程から出たくずなどの出荷額、その収入額と消費税および内国消費税が含まれています。

〈表3〉品種別出荷状況（従業員4名以上、工業統計表品目編による）（出荷量＝トン、出荷額＝百万円）

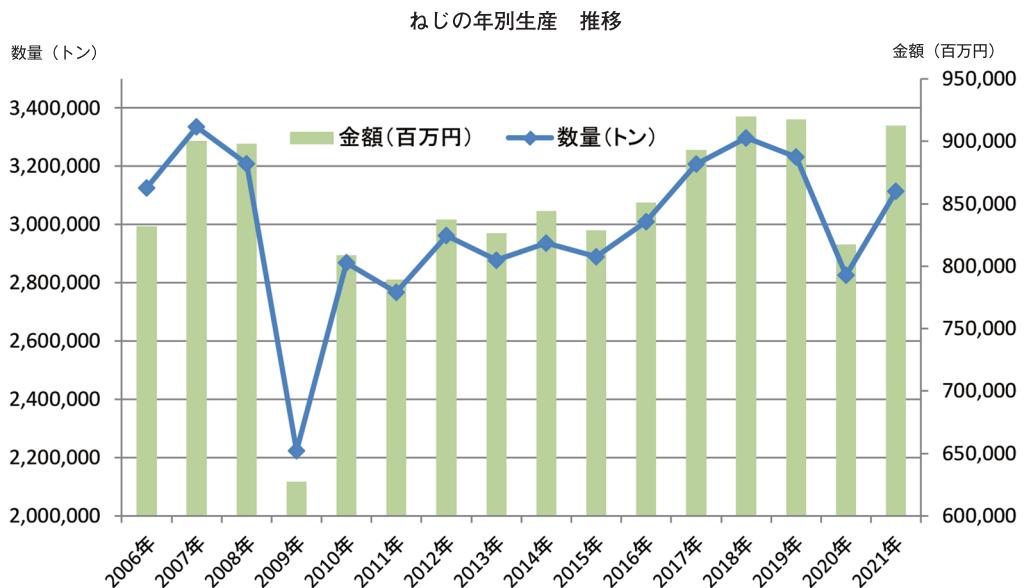
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
ボルト ナット	1,860,435 100.0%	2,036,065 109.4%	2,277,315 122.4%	2,181,947 117.3%	2,138,988 115.0%
	629,909 100.0%	685,051 108.8%	737,157 117.0%	709,381 112.6%	676,735 107.4%
小ねじ 木ねじ	85,918 100.0%	141,160 164.3%	136,353 158.7%	136,405 158.8%	112,657 131.1%
	78,460 100.0%	89,153 113.6%	87,025 110.9%	88,303 112.5%	73,009 93.1%
リベット 座金	78,780 100.0%	85,918 109.1%	87,561 111.1%	85,893 109.0%	82,759 105.1%
	35,557 100.0%	36,915 103.8%	38,114 107.2%	37,817 106.4%	32,666 91.9%
関連製品	— —	— —	— —	— —	— —
	23,586 100.0%	25,166 106.7%	26,146 110.9%	26,287 111.5%	24,955 105.8%
合計	— —	— —	— —	— —	— —
	2,025,133 100.0%	2,263,143 111.8%	2,501,229 123.5%	2,404,245 118.7%	2,334,404 115.3%
	888,282 100.0%	966,434 108.8%	1,027,146 115.6%	985,638 111.0%	924,260 104.1%

ねじメーカーの団体である日本ねじ工業協会の資料〈表4〉でみると、2021年のねじ生産（対象品目＝ボルト・ナット、小ねじ、タッピンねじ、木ねじ、ねじ付部品、その他締結部品の7品目）は生産数量で311万4,740トンとなり前年比10.2%増生産額では、9,127億4300万円となり前年比11.7%増という状況になっています。

〈表4〉ねじの年別生産推移

単位：生産量トン、生産額百万円（（社）日本ねじ工業協会資料より）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
数量（トン） %	3,010,056 100.0%	3,207,572 106.6%	3,297,245 109.5%	3,231,661 107.4%	2,825,464 93.9%	3,114,740 103.5%
	851,090 100.0%	893,152 104.9%	919,727 108.1%	917,578 107.8%	817,434 96.0%	912,743 107.2%



なお、同協会の資料をもとに2006年以降のねじの生産推移をみますと、数量では、2007年をピークにリーマンショック後の2009年で大きく落ち込み、その後、増減を繰りかえし、2017年に2008年の生産レベルまで戻りましたが、コロナ禍の影響で2020年は2011年レベルまで落ち込みました。金額では、2009年以降数量と同様に増減を繰り返し2017年で2008年とほぼ同じ金額まで回復し、2018年と2019年では2007年のピークを超えていましたが、2020年は大きく落ち込み、翌年の2021年は、2019年実績近くまで回復しました。

2. ねじの輸出

日本のねじ輸出について2021年の状況からみていくと、輸出金額は、前年比26.4%増で675億7,400万円多い3,239億6,900万円、輸出数量は、前年比23.9%増で6万6,397トン多い34万4,443トンとなりました。〈表5〉

同年における品目別の輸出状況では、主要品目の鉄鋼製ボルト、ステンレスボルト、鉄鋼製ナット、鉄鋼製タッピンねじ、鉄鋼製その他のねじ、鉄鋼製その他ねじ付品、鉄鋼製リベット、鉄鋼製ねじ無製品、鉄鋼製ばね座金、鉄鋼製平座金、鉄鋼製コッタピン及び銅製品は、数量、金額ともに大きく回復をしました。

〈表5〉ねじの輸出（品目別）

単位：重量トン、金額百万円（貿易統計より）

		2020年	2021年	増減%	2022.1~6
鉄鋼製ボルト	重量	151,955.2	185,605.5	22.1%	87,768.4
	金額	106,152.9	132,286.6	24.6%	66,338.0
ステンレスボルト	重量	1,854.8	2,347.4	26.6%	1,109.6
	金額	4,396.2	5,158.8	17.3%	2,977.1
鉄鋼製ナット	重量	65,956.2	83,079.9	26.0%	37,895.4
	金額	56,253.4	73,552.3	30.8%	36,438.2
ステンレスナット	重量	1,570.4	1,569.6	-0.1%	693.0
	金額	4,161.2	4,433.1	6.5%	2,321.0
鉄鋼製タッピンねじ	重量	8,579.5	10,352.1	20.7%	5,269.8
	金額	9,018.2	11,049.2	22.5%	5,814.3
鉄鋼製木ねじ	重量	70.8	68.5	-3.2%	26.0
	金額	265.2	115.4	-56.5%	51.2
鉄鋼製その他のねじ	重量	18,083.8	21,677.6	19.9%	9,523.1
	金額	28,470.4	35,560.0	24.9%	17,425.4
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	1,472.2	1,835.7	24.7%	813.4
	金額	1,933.2	2,420.8	25.2%	1,182.0
鉄鋼製リベット	重量	2,587.5	3,229.1	24.8%	1,504.5
	金額	3,620.6	4,837.9	33.6%	2,385.2
鉄鋼製ねじ無製品	重量	8,553.6	12,772.5	49.3%	5,937.9
	金額	11,985.7	16,378.7	36.7%	8,731.8
鉄鋼製コーチねじ	重量	26.9	23.3	-13.4%	10.9
	金額	28.1	24.3	-13.5%	11.2
鉄鋼製スクリューフック	重量	33.4	10.6	-68.3%	0.6
	金額	33.6	9.6	-71.4%	2.3
鉄鋼製ばね座金	重量	1,077.6	1,718.2	59.4%	817.9
	金額	2,150.2	3,031.1	41.0%	1,713.9
鉄鋼製平座金	重量	14,155.4	17,655.7	24.7%	8,821.5
	金額	21,948.5	27,344.9	24.6%	14,117.0
鉄鋼製コッタピン	重量	1,208.5	1,465.7	21.3%	546.7
	金額	3,625.6	4,673.5	28.9%	1,985.2
銅製品	重量	859.9	1,031.4	19.9%	486.9
	金額	2,351.6	3,092.3	31.5%	1,569.2
総 計	重量	278,045.7	344,442.8	23.9%	161,225.6
	金額	256,394.6	323,968.5	26.4%	163,063.0

鉄鋼製木ねじ、鉄鋼製コーチねじ、鉄鋼製スクリューフックは、数量、金額ともに更に減少しました。

詳細をみていくと、鉄鋼製ボルトは数量が22.1%増の18万5,606トンで金額が24.6%増の1,322億8,700万円、ステンレスボルトは数量26.6%増の2,347トンで金額17.3%増の51億5,900万円、鉄鋼製ナットは数量が26.0%増の8万3,080トンで金額30.8%増の735億5,200万円、ステンレスナットは数量0.1%減の1,570トンで金額6.5%増の44億3,300万円、鉄鋼製タッピンねじは数量20.7%増の1万352トンで金額22.5%増の110億4,900万円などとなっています。

そして2022年上半期（1月～6月）実績は、数量で前年同期比7.2%減の16億1,226トン、金額で前年同期比1.9%増の1,630億6,300万円と数量で減少に転じ、金額では微増となりました。詳細をみますと、数量では鉄鋼製平座金を除きすべての製品で減少に転じました。金額では、鉄鋼製木ねじ、コーチねじ、スクリューフックとコッタピンの4品種を除き増加しています。

主要国別の輸出数量（銅製品除く鉄鋼製品）でみた2021年実績で5,000トン以上の輸出先となった国・地域は多い順に、中国、米国、タイ、インドネシア、EU、メキシコ、イン

〈表6-1〉 ねじの輸出量（主要国別、銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2020年	2021年	21/20増減比 %	国別比率 %	2022.1～6
総 計	277,185.8	343,411.4	23.9%	100.0%	160,738.7
米 国	65,858.5	81,250.9	23.4%	23.7%	35,512.4
E U	18,263.0	20,852.7	14.2%	6.1%	10,862.9
英 国	6,019.7	5,746.3	-4.5%	1.7%	2,492.4
韓 国	1,561.0	1,598.3	2.4%	0.5%	763.4
中 国	83,939.3	93,109.7	10.9%	27.1%	40,310.8
台 湾	4,448.2	4,890.3	9.9%	1.4%	2,447.1
香 港	1,549.4	1,603.3	3.5%	0.5%	752.2
タ イ	31,944.7	45,055.4	41.0%	13.1%	22,356.7
シンガポール	610.2	984.1	61.3%	0.3%	575.9
マ レ シ ア	4,485.3	5,000.6	11.5%	1.5%	2,776.2
イ ン ド ネ シ ア	13,260.3	22,805.9	72.0%	6.6%	13,092.1
フ イ リ ピ ナ	2,437.0	3,267.5	34.1%	1.0%	1,534.4
カ ナ ダ	2,051.1	2,053.5	0.1%	0.6%	1,056.6
メ キ シ コ	12,023.8	14,170.9	17.9%	4.1%	5,654.2
ブ ラ ジ ル	5,927.8	9,236.1	55.8%	2.7%	5,424.2
イ ン ド	8,160.1	12,196.5	49.5%	3.6%	6,552.7
オーストラリア	367.2	395.6	7.7%	0.1%	180.9
他	20,298.9	24,940.1	22.9%	7.3%	8,393.6

ド, ブラジル, 英国, マレーシアの10ヶ国地域です。2020年と比べると大きくプラスに転じました。前年比30%以上増加したところは多い順に, インドネシア, ブラジル, シンガポール, インド, タイ, フィリピンの6ヶ国地域です。〈表6-1, 6-2〉

〈表6-2〉ねじの輸出金額（主要国別、銅製品を除く）

単位：金額百万円（貿易統計より）

	2020年	2021年	21/20増減比 %	国別比率	2022.1~6
総 計	254,043.0	320,876.2	26.3%	100.0%	161,493.8
米 国	61,281.8	76,671.7	25.1%	23.9%	37,170.2
E U	14,564.5	18,351.2	26.0%	5.7%	10,122.2
英 国	4,324.3	4,623.6	6.9%	1.4%	2,002.2
韓 国	2,798.2	2,928.8	4.7%	0.9%	1,321.5
中 国	73,746.0	84,254.9	14.3%	26.3%	39,120.1
台 湾	4,432.6	5,194.6	17.2%	1.6%	2,718.8
香 港	2,723.2	3,390.2	24.5%	1.1%	1,506.1
タ イ	28,690.3	39,921.6	39.1%	12.4%	20,586.4
シンガポール	1,466.5	2,204.1	50.3%	0.7%	1,275.1
マ レ ー シ ア	4,082.3	4,825.5	18.2%	1.5%	2,660.5
インドネシア	10,908.8	18,795.4	72.3%	5.9%	11,380.5
フィリピン	3,562.6	4,697.9	31.9%	1.5%	2,395.8
カ ナ ダ	2,403.1	2,462.6	2.5%	0.8%	1,847.3
メ キ シ コ	10,519.0	12,681.1	20.6%	4.0%	5,571.9
ブ ラ ジ ル	4,582.2	7,211.8	57.4%	2.2%	4,835.1
イ ン ド	7,769.0	11,268.2	45.0%	3.5%	6,326.8
オーストラリア	744.7	831.4	11.6%	0.3%	462.3
他	15,443.9	20,561.6	33.1%	6.4%	10,191.0

主要国別のねじ輸出状況をみると、中国向けは数量で前年比10.9%増の9万3,110トン、金額は14.3%増の842億5,500万円、米国向けは数量で前年比23.4%増の8万1,251トン、金額で25.1%増の766億7,200万円、タイ向けは数量で前年比41.0%増の4万5,055トン、金額で39.1%増の399億2,200万円、インドネシア向けは数量で前年比72.0%増の2万2,806トン、金額で72.3%増の187億9,500万円、EU向けは前年比27.7%増の2万853トン、183億5,100万円、メキシコ向けは前年比17.9%増の1万4,171トン、126億8,100万円、インド向けは前年比49.5%増の1万2,196トン、112億6,800万円、ブラジル向けは前年比55.8%増の9,236トン、72億1,200万円、英国向けは前年比4.5%減の5,746トン、46億2,400万円、マレーシア向けは数量で前年比11.5%増の5,001トン、48億2,500万円などとなっています。

続いて、2022年に入ってからのねじ輸出（1~6月上半期）、前述上位10ヶ国地域につ

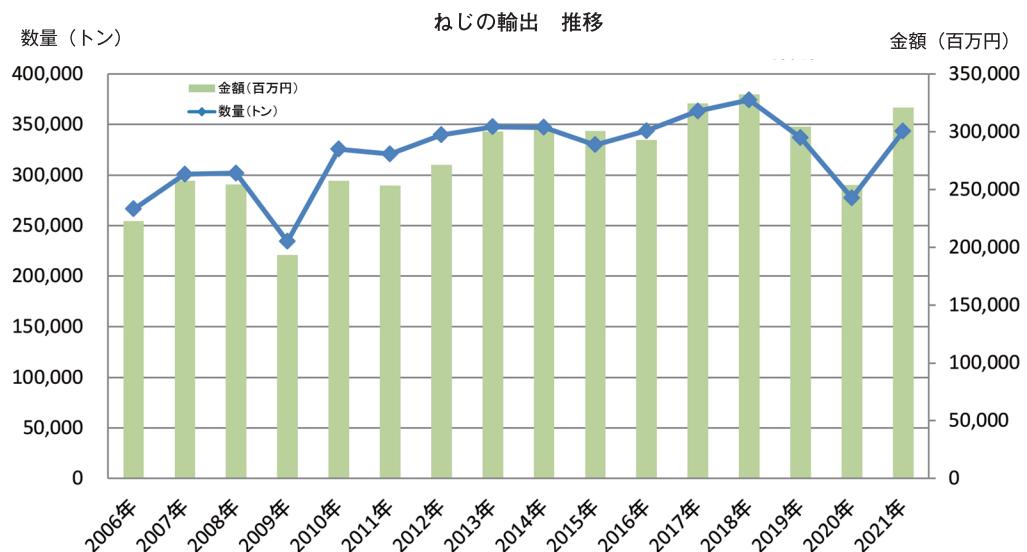
いて前年同期と比較すると、中国向けは数量で4万311トン、金額で391億2,000万円、米国向けは3万5,512トン、371億7,000万円、タイ向けは2万2,357トン、205億8,600万円、インドネシア向けは1万3,092トン、113億8,100万円、EU向けは1万863トン、101億2,200万円、インド向けは6,553トン、63億2,700万円、メキシコ向けは5,654トン、55億7,200万円、ブラジル向けは5,424トン、48億3,500万円、マレーシア向けは2,776トン、26億6,000万円、英国向けは2,492トン、20億200万円などとなっています。

〈表7〉ねじ輸出5年間の推移

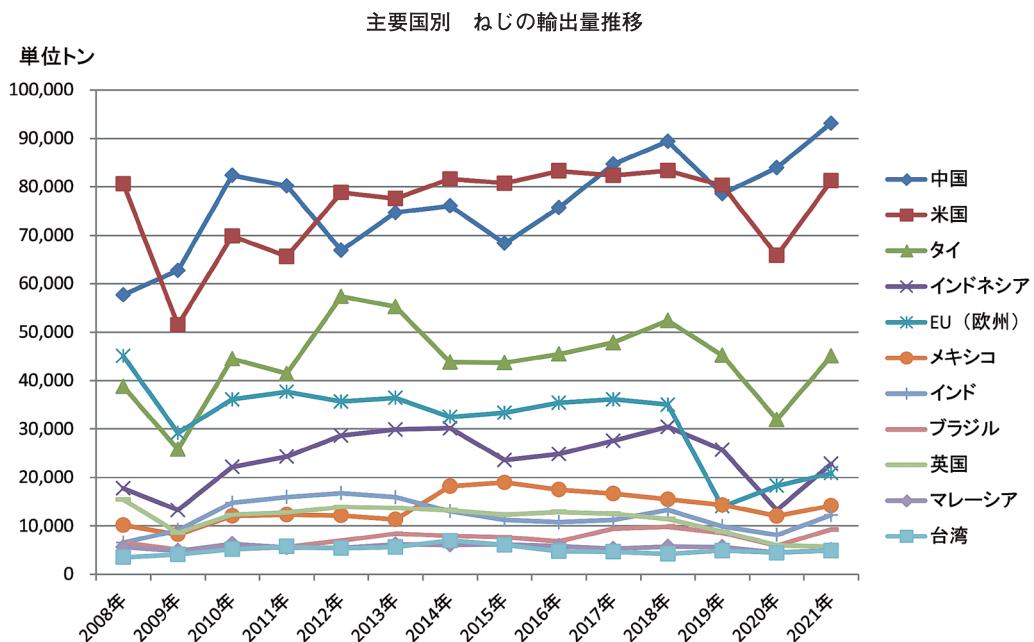
(貿易統計より)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
数量（トン）	363,125.1	374,292.7	336,956.1	277,185.9	343,411.4
%	100.0	103.1%	92.8%	76.3%	94.6%
金額（百万円）	324,414.3	332,312.6	304,321.3	254,043.1	320,876.2
%	100.0	102.4%	93.8%	78.3%	98.9%

ねじの輸出は、リーマンショック後の2009年に大きく減少し、翌年にはV字回復を成しました。その後ほぼ右肩上がりで、2018年をピークに2019年、2020年と減少しました。2021年の輸出量は34万3,411トンで2016年の実績の99.9%とほぼ同じ数量となり、金額は3,209億円と2017年実績額の98.9%と近い金額まで持ち直しています。〈表7〉



貿易統計の資料をもとに、11主要諸国別のねじの輸出量推移をみてみると、中国とEUの両国は、他の主要国より先に急激に落ち込み2019年に底を見て2年連続して回復を示しています。米国を含めた9ヶ国は、2段階の落込みで2020年に底を見てV字回復を示しています。中国の2021年の数量は、3年前のピーク値を4.1%上回り過去最高に達しました。他の諸国は回復してはいるものの、過去のピークを越える程の回復には至っていません。英国は、2017年以降連續して減少を示しています。



3. ねじの輸入

2021年のねじ輸入は、金額で前年比17.8%増と大幅に増加し1,014億1,200万円となりました。数量で前年比8.5%増の24万2,211トンとなっています。〈表8〉

〈表8〉ねじの輸入（品目別）

単位：重量トン、金額百万円（貿易統計より）

		2020年	2021年	増減%	2022.1~6
鉄鋼製ボルト	重量	88,363.5	93,651.3	6.0%	51,601.2
	金額	19,496.9	23,947.2	22.8%	15,061.7
ステンレスボルト	重量	11,654.1	11,845.4	1.6%	6,358.7
	金額	5,592.5	6,368.3	13.9%	4,496.0
鉄鋼製ナット	重量	26,046.4	28,842.9	10.7%	16,120.8
	金額	12,312.9	14,466.0	17.5%	8,878.6
ステンレスナット	重量	5,404.1	5,927.3	9.7%	4,090.2
	金額	5,445.4	6,209.5	14.0%	4,884.8
鉄鋼製タッピンねじ	重量	12,489.9	13,224.6	5.9%	7,422.5
	金額	4,209.0	5,009.5	19.0%	3,286.7
鉄鋼製木ねじ	重量	17,487.6	19,279.2	10.2%	10,480.4
	金額	5,140.3	6,425.0	25.0%	4,349.2
鉄鋼製その他のねじ	重量	25,037.1	24,655.9	-1.5%	8,689.0
	金額	12,562.4	13,164.8	4.8%	3,905.2
鉄鋼製その他ねじ付品	重量	10,409.3	15,064.8	44.7%	13,582.0
	金額	4,560.8	6,044.4	32.5%	8,501.7
鉄鋼製リベット	重量	1,572.0	1,998.9	27.2%	752.1
	金額	906.1	1,058.9	16.9%	410.7
鉄鋼製ねじ無製品	重量	5,045.6	5,823.9	15.4%	3,618.4
	金額	4,720.1	5,539.9	17.4%	3,502.3
鉄鋼製コーチねじ	重量	830.6	982.1	18.2%	524.2
	金額	152.3	213.7	40.3%	155.8
鉄鋼製スクリューフック	重量	650.7	729.1	12.0%	301.0
	金額	282.4	340.4	20.5%	150.7
鉄鋼製ばね座金	重量	4,783.3	5,184.6	8.4%	2,633.5
	金額	1,697.5	2,168.9	27.8%	1,178.3
鉄鋼製平座金	重量	9,392.1	9,896.8	5.4%	5,104.6
	金額	5,176.5	5,474.9	5.8%	3,339.2
鉄鋼製コッタピン	重量	2,749.3	3,635.9	32.2%	1,696.4
	金額	1,436.7	1,632.3	13.6%	816.3
銅製品	重量	1,262.8	1,468.6	16.3%	951.3
	金額	2,421.7	3,348.7	38.3%	2,274.6
総 計	重量	223,178.4	242,211.3	8.5%	133,926.3
	金額	86,113.5	101,412.4	17.8%	65,191.8

品目別のねじ輸入状況では、主要製品の鉄鋼製ボルトが数量で前年比6.0%増の9万3,651、金額で22.8%増の239億4,700万円、ステンレスボルトが数量で前年比1.6%増の1万1,845トンで金額13.9%増の63億6,800万円、鉄鋼製ナットが前年比10.7%増の2万8,843トンで金額17.5%増の144億6,600万円、ステンレスナットが前年比9.7%増の5,927トンで金額14.0%増の62億1,000万円、鉄鋼製タッピ

ンねじが前年比 5.9% 増の 1 万 3,225 トンで金額 19.0% 増の 50 億 1,000 万円、鉄鋼製木ねじが前年比 10.2% 増の 1 万 9,279 トンで金額 25.0% 増の 64 億 2,500 万円、鉄製その他ねじが前年比 1.5% 減の 2 万 4,656 トンで金額 4.8% 増の 131 億 6,500 万円、鉄鋼製その他のねじ付品が前年比 44.7% 増の 1 万 5,065 トンで金額 32.5 % 増の 60 億 4,400 万円、鉄鋼製リベットが前年比 27.2% 増の 1,999 トンで金額 16.9% 増の 10 億 5,900 万円、鉄鋼製のねじ無製品が前年比 15.4% 増の 5,824 トンで金額 17.4% 増の 55 億 4,000 万円などとなっています。〈表 8〉

2021 年のねじ輸入数量の国別に見ますと、中国、台湾、韓国、ベトナム、タイ、EU、マレーシア、米国、などの順で輸入されています。〈表 9-1、9-2〉

〈表9-1〉ねじの輸入量（主要国別、銅製品を除く）

単位：トン（貿易統計より）

	2020年	2021年	21/20増減比 %	国別比率 %	2022.1~6
総 計	221,915.6	240,742.7	8.5%	100.0%	132,975.0
米 国	897.2	1,142.3	27.3%	0.5%	567.3
E U	2,151.2	2,650.8	23.2%	1.1%	1,480.1
英 国	161.7	158.3	-2.1%	0.1%	78.9
韓 国	11,613.5	14,021.3	20.7%	5.8%	6,939.9
中 国	122,973.4	137,167.8	11.5%	57.0%	76,083.8
台 湾	64,408.8	65,961.0	2.4%	27.4%	36,516.5
タ イ	3,684.2	3,308.9	-10.2%	1.4%	1,908.4
シンガポール	44.8	55.7	24.3%	0.0%	42.2
マ レ シ ア	2,522.9	1,891.6	-25.0%	0.8%	945.4
イ ン ド ネ シ ア	500.0	628.8	25.8%	0.3%	256.2
ベ ト ナ ム	11,748.9	12,586.0	7.1%	5.2%	7,246.2
他	1,370.7	1,170.2	-14.6%	0.5%	910.1

中国からの輸入は数量で前年比 11.5% 増の 13 万 7,168 トンで金額 30.0% 増の 358 億 2,400 万円、台湾からは前年比 2.4% 増の 6 万 5,961 トンで金額 18.1% 増の 278 億 2,700 万円、韓国からは前年比 20.7% 増の 1 万 4,021 トンで金額 28.8% 増の 56 億 7,600 万円、ベトナムからは前年比 7.1% 増の 1 万 2,586 トンで金額 19.5% 増の 37 億 3,000 万円、タイからは前年比 10.2% 減の 3,309 トンで金額 16.4% 増の 28 億 9,500 万円、E U からは前年比 23.2% 増の 2,651 トンで金額 24.8% 減の 47 億 4,200 万円、マレーシアからは前年比 25.0% 減の 1,892 トンで金額 37.5% 減の 10 億 4,400 万円、米国からは前年比 27.3% 増の 1,142 トンで金額 26.6% 減の 133 億 500 万円となっています。続いて、2022 年上半期（1 月～6 月）のねじ輸入について、数量で前年同期比 12.4 % 増の 13 万 2,975 トン、輸入額は 38.1% 増の 629 億 1,700 万円となりました。

〈表9-2〉ねじの輸入金額 (主要国別、銅製品を除く) 単位:金額百万円 (貿易統計より)

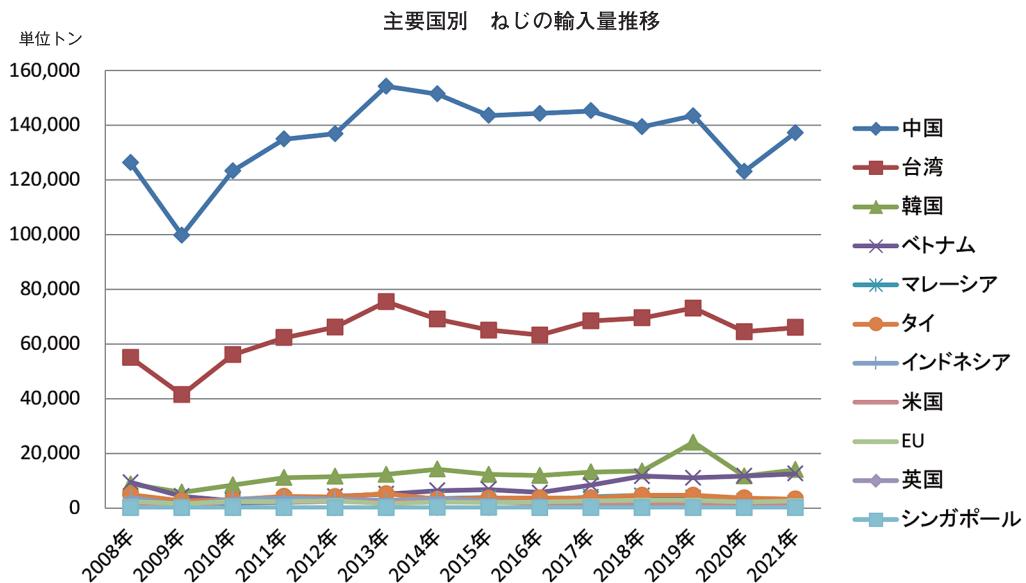
	2020年	2021年	21/20増減比 %	国別比率	2022.1~6
総 計	83,691.8	98,063.7	17.2%	100.0%	62,917.2
米 国	13,304.8	11,609.6	-12.7%	11.8%	6,806.7
E U	4,741.7	5,559.8	17.3%	5.7%	3,530.1
英 国	1,260.4	1,180.9	-6.3%	1.2%	704.8
韓 国	4,408.2	5,676.2	28.8%	5.8%	3,195.2
中 国	27,564.6	35,823.5	30.0%	36.5%	23,390.2
台 湾	23,563.4	27,827.3	18.1%	28.4%	18,842.1
タ イ	2,486.0	2,894.9	16.4%	3.0%	1,771.6
シンガポール	139.5	159.2	14.1%	0.2%	101.7
マ レ ー シ ア	1,043.5	932.2	-10.7%	1.0%	617.9
イ ン ド ネ シ ア	428.9	622.2	45.1%	0.6%	288.7
ベ ト ナ ム	3,120.9	3,729.7	19.5%	3.8%	2,299.4
他	2,890.3	2,048.2	-29.1%	2.1%	1,368.8

〈表10〉ねじ輸入5年間の推移 (貿易統計より)

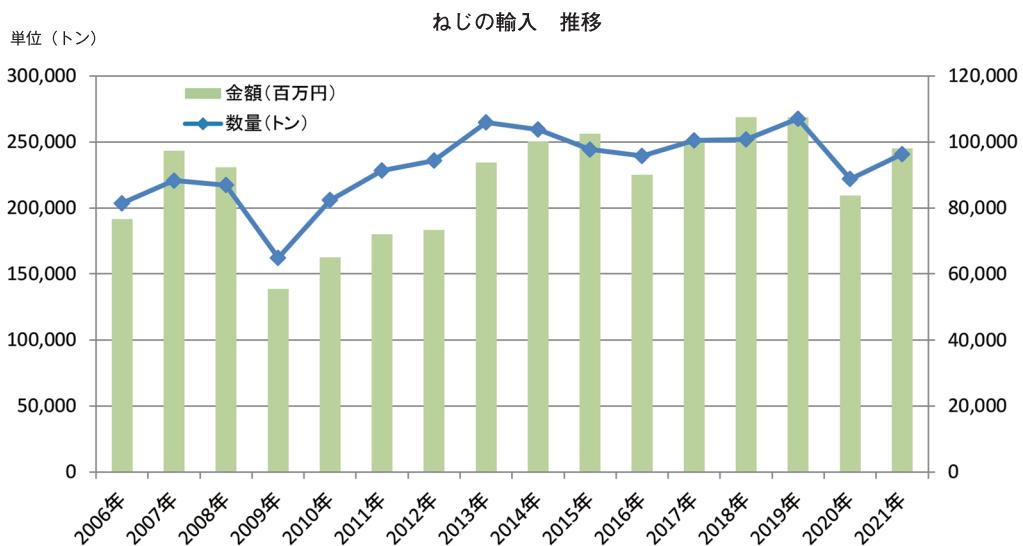
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
数量 (トン)	251,158.5	251,814.3	267,565.6	221,915.8	240,742.7
%	100.0%	100.3%	106.5%	88.4%	95.9%
金額 (百万円)	100,494.2	107,555.2	107,549.9	83,691.8	98,063.7
%	100.0%	107.0%	107.0%	83.3%	97.6%

ねじの輸入量において貿易統計の資料をもとに推移をみると、中国製と台湾製で全体の85%以上を占めている状態が2017年まで10年ほど続きました。中国製は、2010年以降2016年を除き60%を下回り、2019年では53%台まで下がりました。台湾製は、27%前後を推移し、2020年は過去最高の29%を示しました。韓国製は、2010年から4年間4%台、2014年以降は5%台を維持しています。ベトナム製は2010年から3年間1%台、2013年から4年間2%台、2017年の3%台、2018以降は4%以上と着実に増えています。

グラフからわかるように、リーマンショックの影響で2009年は数量・金額共に大幅に落込みましたが、翌年にはV字回復をして2013年まで増加を示しました。それ以降数量は2016年まで緩やかに下降し、2019年まで緩やかな増加をしました。2020年は新型コロナ禍による経済活動の停滞の影響で大きく落ち込みました。



2021年は数量で2016年比5.5%増、金額で9.0%増となりました。金額推移では2009年以降増加し、2016年の落込みを除けば、2019年まではほぼ増加を示しています。2020年は大きく落ち込み、2021年は2014年の98%の金額まで回復しました。



ねじ需要産業の動向（参考）

ねじ需要を支える主要産業である自動車産業、家電・電子機器産業、工作機械産業などは、2020年以降の感染症の蔓延と終息の動きに左右され 生産活動に大きな影響を今も与えています。また今年、東欧での紛争が世界経済へ大きな影響を新たに与えました。ここでは経済産業省生産動態調査による工業製品の生産実数値について 幾つか参考までにみることにします。なお、生産動態調査において、ビデオカメラ、飲料用自動販売機と携帯電話の3品種は、集計データが取止めとなりましたので、携帯電話を除き2製品はネットワーク接続機器とガス機器へ掲載を変更いたします。

まず、自動車の2021年の生産は784万2,975台で前年比2.8%減、22万4,968台減少しました。内訳をみると、トラックとバスを除き減少しました。乗用車が4.8%減で26万7,846台の減少、軽乗用車が5.4%減で7万3,782台の減少、軽トラックが0.7%減で2,619台の減少、トラックは17.5%増で11万5,421台の増加、バスは5.5%の増加で3,858台の増加となっています。2022年1月～6月上半期でみた場合は前年同期比14.1%減の362万9,137台、59万3,244台の減少となっています。「12月度速報値を加味した2022年生産台数と2021年生産台数実績を比較しますと、2万749台差まで回復をみせています。

◇自動車

	乗用車	軽乗用車	トラック	軽トラック	バス	計
2019年	6,715,604	1,455,518	775,635	420,943	121,602	9,489,302
2020年	5,602,761	1,357,650	659,761	377,970	69,801	8,067,943
2021年	5,334,915	1,284,330	778,703	375,351	73,659	7,846,958
2022年1月	372,635	89,052	47,670	31,945	5,069	546,371
2月	460,978	120,940	63,424	40,318	7,556	693,216
3月	477,513	127,404	71,029	35,528	7,008	718,482
4月	386,066	95,096	62,371	32,555	7,575	583,663
5月	284,680	73,522	40,004	15,921	5,615	419,742
6月	450,431	109,518	65,996	35,662	6,056	667,663
1～6月計	2,432,303	615,532	350,494	191,929	38,879	3,629,137
2022年速報	5,265,228	1,301,128	742,110	433,132	84,611	7,826,209

設備投資の指標となる金属工作機械の2021年の生産状況は、前年比92.2%増の87,593台となっています。2022年1月～6月上半期は前年同期比3.9%増の37,064台となっています。

◇工作機械、他

(台)

	金属工作機械	はん用内燃機関	ショベルトラック	フォークリフトトラック
2019年	62,240	4,196,728	10,972	110,794
2020年	45,569	3,195,713	8,267	108,419
2021年	87,593	3,832,906	11,205	119,477
2022年1月	5,469	197,397	909	9,292
2月	6,297	299,535	796	10,280
3月	7,659	351,328	962	11,657
4月	6,089	315,663	866	10,831
5月	5,555	272,767	711	8,348
6月	5,995	349,753	1,010	11,295
1~6月計	37,064	1,786,443	5,254	61,703

一方、薄型テレビの2021年生産は前年比36.3%の9万8,214台となり、2022年1月～6月上半期は前年同期比96.2%増の7万3,792台という生産状況です。電機冷蔵庫の2021年生産は、前年比4.5%減の126万1,547台で、2022年1月～6月期は前年同期比8.5%減の61万1,424台の生産となっています。

◇家電

(台)

	薄型テレビ	クッキングヒーター	電気洗濯機	電気冷蔵庫
2019年	273,439	778,567	866,603	1,537,857
2020年	154,179	741,847	840,932	1,320,594
2021年	98,214	733,932	810,418	1,261,547
2022年1月	11,555	65,881	64,173	104,718
2月	9,885	67,090	68,846	97,793
3月	16,328	63,024	73,898	93,609
4月	13,026	70,345	50,407	81,803
5月	7,748	55,996	26,586	94,849
6月	15,250	75,857	66,035	138,652
1~6月計	73,792	398,193	349,945	611,424

デジタルカメラの2021年生産は、前年比4.2%増の194万5,930台でしたが、2022年1月～6月期は前年同期比13.4%減の89万8,044台となりました。

ネットワーク接続機器の2021年生産は前年比26.2%減の111万8,317台となりましたが、2022年1月～6月期も前年同期比33.1%減の47万2,195台となりました。

携帯電話は2022年1月より統計データ対象から外れましたので、次回は別製品を掲載します。

◇デジタルカメラ、複写機など

(台)

	デジタルカメラ	ネットワーク接続機	デジタル・フルカラー複写機	固定通信装置
2019年	2,423,955	1,577,770	104,236	320,521
2020年	1,868,145	1,515,862	91,408	236,455
2021年	1,945,930	1,118,317	88,650	214,305
2022年1月	139,477	86,492	6,823	10,335
2月	147,775	81,314	9,223	13,076
3月	125,818	103,113	12,406	17,293
4月	92,871	73,688	8,646	12,303
5月	166,479	57,616	4,535	9,117
6月	225,624	69,972	7,214	12,371
1~6月計	898,044	472,195	48,847	74,495

◇パソコン、携帯電話ほか

(台)

	パソコン	携帯電話	ボタン電話装置	カーナビ
2019年	7,851,420	4,937,004	111,516	6,430,229
2020年	6,044,635	6,039,057	102,907	5,081,384
2021年	5,525,547	6,169,011	99,291	5,033,549
2022年1月	408,358	—	7,217	378,339
2月	402,487	—	6,415	379,248
3月	468,459	—	10,801	437,891
4月	323,263	—	6,932	402,262
5月	297,302	—	6,264	269,653
6月	414,222	—	8,243	345,213
1~6月計	2,314,091	—	45,872	2,212,606

ガス機器の2021年生産は、前年比2.2%減の7,136,951台でしたが、2022年1月～6月期は前年同期比4.3%増の3,779,235台となりました。

◇産業用ロボットほか

(台)

	数値制御ロボット	プレイバックロボット	ガス機器	セパレート型エアコン
2019年	26,769	116,166	7,408,755	5,226,908
2020年	28,596	123,017	7,294,521	4,713,337
2021年	35,162	165,469	7,136,951	4,321,033
2022年1月	2,657	13,515	528,117	270,387
2月	3,141	14,160	517,260	291,296
3月	3,879	17,164	688,806	427,705
4月	3,323	15,442	641,395	436,223
5月	3,187	13,938	622,468	346,005
6月	3,725	19,034	781,189	519,013
1~6月計	19,912	93,253	3,779,235	2,290,629

イワタボルトはあなたの会社に 最適締結システムを提供します

本 社 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03(3493) 0211(代) FAX 03(3493) 2096
S O F I 課 TEL 03(3493) 0251(代)
資 材 課 TEL 03(3493) 0252(代)
技術開発課 TEL 03(3493) 0214(代)
品質管理課 TEL 03(3493) 0253(代)
海 外 課 TEL 03(3493) 0254(代)

板木工場 〒329-2331 栃木県塙谷郡塙谷町大字田所字八沢1601-6
TEL 0287(45) 1051(代) FAX 0287(45) 1053

オハイオ工場 102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-7070 FAX 1-513-942-5566

シンガポール工場 No.10, BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

中国深圳工場 シンセン
No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

タイ工場 700/834 MO06 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

一関営業所 〒021-0902 岩手県一関市萩莊字打ノ目244-1
TEL 0191(24) 4110(代) FAX 0191(24) 4180

山形営業所 〒990-0073 山形県山形市大野目4-2-60
TEL 023(631) 6321(代) FAX 023(631) 6322

仙台営業所 〒981-1224 宮城県名取市増田6-3-46
TEL 022(384) 0265(代) FAX 022(384) 0694

福島営業所 〒963-0111 福島県郡山市安積荒井一丁目115
TEL 024(945) 9610(代) FAX 024(945) 9605

宇都宮営業所 〒329-2331 栃木県塙谷郡塙谷町大字田所字八沢1601-6
TEL 0287(45) 1421(代) FAX 0287(45) 1422

板木分室 〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56-2
ホンダ開発ビル4階 403号室
TEL 028(677) 4721(代) FAX 028(677) 4719

上田営業所 〒386-0005 長野県上田市古里42-25
TEL 0268(26) 1295(代) FAX 0268(26) 1259

群馬営業所 〒370-3524 群馬県高崎市中泉町621-6
TEL 027(372) 4361(代) FAX 027(372) 4366

太田営業所 〒373-0841 群馬県太田市岩瀬川町113-3
TEL 0276(46) 1796(代) FAX 0276(46) 1764

埼玉営業所 〒364-0013 埼玉県北本市丸4-72番地
TEL 048(591) 2212(代) FAX 048(591) 2261

つくば営業所 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-27-25
TEL 029(855) 0764(代) FAX 029(855) 0769

千葉営業所 〒292-0834 千葉県木更津市潮見6-10
TEL 0438(37) 3094(代) FAX 0438(37) 3194

五反田営業所 〒141-8508 東京都品川区西五反田2-32-4
TEL 03(3493) 0221(代) FAX 03(3493) 2096

多摩営業所 〒196-0032 東京都昭島市郷地町2-38-3
TEL 042(541) 5534(代) FAX 042(541) 6416

横浜営業所 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-13-38
TEL 045(781) 4311(代) FAX 045(781) 4361

湘南相模営業所 〒243-0203 神奈川県厚木市下荻野534番地
TEL 046(241) 7021(代) FAX 046(241) 7023

富士営業所 〒417-0061 静岡県富士市佐法3205-1
TEL 0545(57) 0600(代) FAX 0545(57) 0604

浜松営業所 〒430-0831 静岡県浜松市南区御給町179-1
TEL 053(425) 1118(代) FAX 053(425) 9448

名古屋営業所 〒452-0847 愛知県名古屋市西区野南町50番地
TEL 052(502) 7761(代) FAX 052(502) 7763

安城営業所 〒446-0019 愛知県安城市新明町1-5
TEL (0566) 72-6722(代) FAX (0566) 72-6724

三重営業所 〒510-0971 三重県四日市市南小松町2670-15
TEL 059(329) 6731(代) FAX 059(329) 6732

大阪営業所 〒581-0822 大阪府八尾市高砂町3-3-16
TEL 072(923) 7910(代) FAX 072(923) 7911

広島分室 〒731-0124 広島県広島市安佐南区大町東3-17-10-104
TEL 082(877) 2815(代) FAX 082(877) 2818

福岡営業所 〒824-0068 福岡県行橋市大字延永三反田74-3
TEL 0930(23) 9444(代) FAX 0930(23) 9451

久留米営業所 〒839-0809 福岡県久留米市東合川2-4-38
TEL 0942(45) 3451(代) FAX 0942(45) 3452

IWATA BOLT HONG KONG CO., LTD. [香港]
UNIT 4, 8/F., BLOCK A, NEW TRADE PLAZA, 6
ON PIN STREET, SHATIN, N.T. HONG KONG.
TEL 852-2649-9110 FAX 852-2646-6119

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. [上海]
PART B, NO.39 BUILDING, 461 HUA JING ROAD,
SHANGHAI WAIGAOQIAO FREE TRADE ZONE,
P.R. CHINA ZIP 200131
TEL 86-21-5046-3037 FAX 86-21-5046-3038

IWATA BOLT (SHANGHAI) CO., LTD. SUZHOU BRANCH. [蘇州支店]
UNIT A2 NO.29 ZHONG HUAN BUILDING, 369
LUSHAN ROAD, SUZHOU, JIANGSU PROVINCE,
P.R. CHINA ZIP 215129
TEL 86-512-6937-0030 FAX 86-512-6937-0031

IWATA BOLT (WUHAN) CO., LTD. [武漢]
UNIT 006, MERIT GARDEN, NO.173, ZHUANYANG
AVE., WUHAN ECONOMIC & TECHNOLOGICAL
DEVELOPMENT ZONE, WUHAN, HUBEI,
P.R.CHINA ZIP 430056
TEL 86-27-8429-7871 FAX 86-27-8429-7874

IWATA BOLT (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳工場]
NO.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-27-2714-0442 FAX 86-755-2714-0443

IWATA BOLT AUTO PARTS (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳汽車零部件]
No.001-12 INDUSTRIAL ESTATE ZONE, TONG
FU YU, TANG XIA YONG, SONG GANG STREET,
BAO AN DISTRICT, SHENZHEN CITY, GUANG
DONG PROVINCE, CHINA ZIP 518105
TEL 86-755-8149-6291 FAX 86-755-8149-6295

IWATA BOLT TRADING (SHENZHEN) CO., LTD. [深圳貿易]
UNIT A2/F XINGDA LOGISTICS BUILDING NO.3,
LANHUA ROAD, FUTIAN FREE TRADE ZONE
SHENZHEN CHINA ZIP 518038
TEL 86-755-6130-1077 FAX 86-755-6113-6138

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. [タイ]
700/834 MO06 AMATA CITY CHONBURI
INDUSTRIAL ESTATE T.NONGTAMLUENG, A.
PHANTHONG CHONBURI 20160 THAILAND
TEL 66-38-185-595 FAX 66-38-185-599

IWATA BOLT (THAILAND) CO., LTD. AYUTTHAYA OFFICE [アユタヤ分室]
139 MOO 3 THAVORNKANLAPACHAIBD. 2ND FLOOR,
ASIA, BANGPAIN ROAD, T. KLONGSUANPLU
A AYUTTHAYA AYUTTHAYA 13000 THAILAND
TEL 66-35-930-646 FAX 66-35-930-647

IWATA BOLT SINGAPORE PTE. LTD. [シンガポール]
NO.10 BENOI CRESCENT JURONG TOWN
SINGAPORE 629973
TEL 65-6266-3794-3795 FAX 65-6266-2115

IBK FASTENER MALAYSIA SDN. BHD. [マレーシア]
TAMAN PERINDUSTRIAN JAYA, NO.5 JALAN
PJU1A/8(TPJ2), ARA DAMANSARA 47301
PETALING JAYA, SELANGOR MALAYSIA.
TEL 60-3-78438801 FAX 60-3-78438804

PT. IWATA BOLT INDONESIA [インドネシア]
JL. KENARI II BLOK G1A NO.8 DELTA SILICON 5
LIPPO CIKARANG BEKASI 17550 INDONESIA
TEL 62-21-2961-7881 FAX 62-21-2961-7883

IWATA BOLT USA INC. [U.S.A.本社]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [オハイオ支店]
102 IWATA DR., FAIRFIELD, OHIO 45014 U.S.A.
TEL 1-513-942-5050 FAX 1-513-942-5566

IWATA BOLT USA INC. [ロサンゼルス支店]
7131 ORANGEWOOD AVE., GARDEN GROVE,
CALIFORNIA 92841-1409 U.S.A.
TEL 1-714-894-7302 FAX 1-714-897-0888

IWATA BOLT USA INC. [アトランタ支店]
5324 GA HWY 85, SUITE 900, FOREST PARK,
GEORGIA 30297 U.S.A.
TEL 1-404-762-8404 FAX 1-404-669-9606

IWATA BOLT USA INC. [ナッシュビル支店]
401 AIRPARK CENTER DR., NASHVILLE,
TENNESSEE 37217 U.S.A.
TEL 1-615-365-1201 FAX 1-615-365-1206

IWATA BOLT USA INC. [カナダ支店]
1199 RINGWELL DR., UNIT B, NEWMARKET,
ONTARIO L3Y 8T8 CANADA
TEL 1-905-953-9433 FAX 1-905-953-0167

IWATA BOLT MEXICANA, S.A.D.E C.V. [メキシコ本社]
CALZ. LAZARO CARDENAS NO.493-B3
COLONIA FERROCARRILES GUADALAJARA
JALISCO CP44440 MEXICO
TEL 52-33-3666-2370 FAX 52-33-3666-2373

IWATA BOLT MEXICANA, S.A.D.E C.V. [ケレタロ支店]
CARRETERA QUERETARO-SAN LUIS POTOSI
NO.24000-B4 SANTA CATARINA, QRO CP76220
MEXICO
TEL 52-442-325-6265 FAX 52-442-325-6254

ISO14001認証企業・ISO9001認証企業・ISO/IEC17025認定企業 URL <http://www.iwatabolt.co.jp/>

イワタボルト株式会社